

## 連載コラム

### ～ コーチングコミュニケーションが人を育てる ～ <第17回>

「教えないとうまくいく？」

皆様、こんにちは、\('▽')/  
ドリームフィールドの阿部侑生です。

先日、この春から中3になる娘さんを持つお父さんと話をしていました。  
(ちなみにそのお父さんはコーチングの勉強を6年ほどなさっている、私の生徒さんでもあります)  
「子どもって、目標が見つかる勝手にどんどん自分から動くんですね！親のほうがちびっくりしています！！」  
とおっしゃっていました。

話を聞くと、部活を頑張っている娘さんが最近、進路について考えていたそうです。  
彼女は考えた結果、「校舎が綺麗な高校に行きたい」と思ったそうなのです  
(この選択が面白い！そしてその選択にダメだしせず受け取るお父さんもまた素晴らしい)。  
探してみたら仙台市内にAという高校が見つかった。  
古い校舎からの建て替えが終わったばかりの冷暖房完備の新しい校舎。  
しかも調べてみると、入りたいと思っていた「軽音楽部」もある。  
さらに難関の特進コースに入ると100万円がもらえることがわかった(後でよく調べたら10万円の間違いだったそうです。入学の際の補助金だと思われます\('▽')\))。ほかの高校のこともたくさん調べて、徹底的に比較して、ここしかない判断した彼女。こうなったら、もう誰も止められません。

その日から、部活が終わってへトへトに疲れているにもかかわらず、人が変わったように、  
毎晩、机に向かって勉強しているそうです。  
この話を聞いていると、自分で目標を見つけられるって素晴らしい！と思うのです。  
勉強しなさいなんて言われなくても、こうなりたい！という目標があるから勝手に勉強するようになるのです。

しかし大人は、子どもの「目標」を無意識のうちに奪っていないでしょうか。  
「その学校はやめたほうがいい」とか「こっちのほうがいいんじゃない」と否定したり、  
良かれと思って必要以上にアドバイスしたり、自分の意見を押し付けたり。

大人の役目は、子どもにやりたいことを見つけるための機会を与え、いろんな経験をする機会を奪わない。  
見守りつつ、興味を持ったことについて情報を提供する。必要とされた時はしっかり悩みを聞いてあげる。  
そんなことができたらいいなあ、と思うのです。  
自分で人生を決められない大人が増えているのを見ると余計にそう思います。

人はプチ失敗をたくさんしていくうちに、自分の人生を真剣に考える機会が出来て、やりたいことが見えてくるのだと思います。教えれば教えるほど、相手はやる気を失っていくような気がします。

まずは大人が「この子は〇〇〇だ」と決めつけずに、できる限り好きなようにやらせてみませんか。親の出番は「お金」だけでいいのかもしれないよ～(笑)。

といつつ、子どもの受験問題に悩める親の一人、ユッキーです。共に頑張りましょうね♪

### ★今日のポイント★

口がひとつで耳がふたつあるのは、話すことより聞くほうが大事だから。

まずはアドバイスせずに相手の話を聞いてみよう。

#### \*プロフィール\*

阿部 侑生 (あべ ゆき)

ドリームフィールド代表。

文部科学省認可(財) 生涯学習開発財団認定プロフェッショナルコーチ。

フリーアナウンサーとしてミヤギテレビ「OH! バンデス」(95~04)等、レギュラー出演、その後、ビジネスコーチとして独立。

「コミュニケーションスキルの向上」「自発的な部下の育成」

「子どものやる気を引き出すコーチング」「人生を変えるスマイルパワーについて」等をテーマにしたコーチング研修、コミュニケーション研修講師として活動中。

経営者、起業家へのパーソナルコーチングも行っている。